

# 難民と私たち

## ～難民になるということ～



(イラク/安田菜津紀さん撮影)

日本に難民がいるなんて、知りませんよね。多くの方は知らないと思います。

なぜなら、私たちの生活に直接関わりがないように思えますから。

難民は、母国に残した家族と自身の安全を気遣い、息をひそめて暮らしています。

なぜなら、難民は祖国に反旗を翻したことになるから。「私たちの祖国は怖い国です。日本で生きていきたいです」と声高には言えません。

～同写真展 パネルより～

フォトジャーナリスト安田菜津紀さんの作品を通して、日本に逃れてきた難民が、母国でどのような状況に置かれていたのか、私たちに何ができるのか、考えてみてください。

### 期間・会場

- |                   |                                     |
|-------------------|-------------------------------------|
| 1月10日(月)～1月27日(金) | 神明いきいきプラザ (港区浜松町一丁目6番7号)            |
| 1月28日(土)～2月5日(日)  | 高輪図書館 (港区高輪1丁目16番25号 高輪コミュニティびらさ3階) |
| 2月10日(金)～2月17日(金) | 三田図書館 (港区芝5丁目28番4号)                 |
| 2月24日(金)～3月4日(土)  | 港南図書館 (港区港南3丁目3番17号 シティハイツ港南1階)     |
| 3月6日(月)～3月12日(日)  | 麻布図書館 (港区六本木5丁目12番24号)              |
| 3月13日(月)～3月18日(土) | みなと図書館 (港区芝公園3丁目2番25号)              |
| 3月19日(日)～3月25日(土) | 赤坂図書館 (港区南青山1丁目3番3号 青山1丁目タワー3階)     |

※上記の期間は変更になる場合もあります。お越し前に本ホームページでご確認ください。

※展示時間は各会場の開館時間(および休館日)によって異なります。詳しくは各館のホームページなどでご確認ください。

### 撮影：安田菜津紀さん

1987年神奈川県生まれ。

studio AFTERMODE 所属フォトジャーナリスト。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。2012年、「HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-」で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ 陸前高田に生きる』(ポプラ社)、著書に『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』(新潮社)。



©Rie Nagata

### 企画・運営：株式会社アルーシャ

日本に暮らす難民の自立支援を目的に、難民がネイリストとして仕事ができるネイルサロンを運営しています。2010年5月にOPENしてから、難民・外国人・日本人が一緒に力を合わせて働いています。キレイになれる国際協力・社会貢献！ぜひお越しください。

東京都港区虎ノ門5-11-11 虎ノ門MKビル2階 [www.arusha.co.jp](http://www.arusha.co.jp)

#### 港区立男女平等参画センター リーブラ

〒105-0023 東京都港区芝浦1-16-1  
みなとパーク芝浦2階

◆TEL 03-3456-4149  
◆FAX 03-3456-1254